

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		協力会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	中島 強太
作業名称	ウォーターカッター(水切り)設置	作業手順書	作成年月日	令和5年4月1日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	橋梁点検車(オーバーハング) ※橋梁点検車手順書に準ずる 2tトラック		協力会社店社確認	自筆サイン
使用工具 機器 (大きさは等しい具 体的な寸法を記 す)	ディスクグラインダー、ケレンブラシ、ウォーターカッター資材		元請確認	自筆サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、手袋、保護マスク、保護メガネ、脚立、耐切削手袋 墜落制止用器具		改正年月日	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	普通中型大型自動車運転免許(車種、種別により判断) (特)高所作業車運転特別教育 振動工具取扱作業(特)		作業順序	
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	安全管理機材の設置1~2名、アウトリガーの張り出し3~4名、 昇降・降下・旋回・伸縮1~2名		1 準備作業	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	2 設置位置確認	
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)		3 橋梁点検車設置	
			4 ケレン工	
			5 ウォーターカッター設置	
			6 橋梁点検車撤去	
			7 後片付け	
			8	
			9	

可 能 性	リスクの見積り	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う	組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
					△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要	

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可 能 性	重 大 性	評 価 点	リ ス ク レ ベ ル	ミ ス ・ ロ ス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検・工具の確認・積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
事前準備	出発前の車両点検及び道 具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3	安	重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
	はさまれん棒設置箇所	短管設置	短管の固定が悪く走行時に落下	○	×	0	0	安	インシュロック等の固定材で固定し作業員全員で固定状況を確認により確認する。
出発~現場	規制内への流入する	事前に規制責任者へ報告	規制内流入時、一般車が規制内へ誤進入し、保安員と接触する	○	×	○×	3	安	回転灯、ハザード、ウインカーの順でルールを守る
橋梁点検車設置			橋梁点検車作業手順書に準ずる						
作業開始	ケレン工	ディスクグラインダーを用いて下地処理を行う	飛散による第3者被害	△	△	△△	3	公	作業箇所を飛散防止ネットで囲う。
			飛散防止ネット飛散による第3者被害	△	△	△△	3	安	飛散防止ネットを付した構造物等に固定し、2重の安全対策を行う。
			刃先が他作業員に接触	△	△	0	3	安	作業半径を決め、他が立ち入る場合は作業を中断する。
			キックバックによる身体の負傷	△	△	0	3	安	キックバック防止機能を搭載した工具を使用。搭載していないものに関しては防護服を着用する。
			白蟻病を引き起こす	△	×	△×	4	安	一連続作業時間を30分以内とし、一連続作業の後5分以上の休止時間を設ける。
	ウォーターカッター設置	接着面に接着剤を塗布する	接着面にホコリや油分等による接着不良	○	△	○△	2	品	油分の除去を確実に進行
		コンクリート面にウォーターカッターを設置する	設置時は、コンクリート面との隙間が無いが確認する	○	△	○△	2	品	接着不良にならぬ様に、2名以上に設置・圧着を行う
橋梁点検車撤去			橋梁点検車作業手順書に準ずる						
清掃・後片付け	清掃・後片付け	残材、工具の忘れのないように							
現場離脱	工事車両退出	車両移動時	周囲確認を行わず、荷台等に置き忘れたものを落下させる。	△	△	0	0	安	離脱前に作業員全員で周囲の確認を行う。
		指定の出口で一旦停止	離脱時通過車両と接触する。	△	△	0	0	安	保安員の合図、運転者のサイドミラーの確認を行い、現場を離脱する。 工事車両幕を取付た場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事